



# 卷末資料

## 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」

### （1）健康な心と体

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

### （2）自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

### （3）協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

### （4）道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

### （5）社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

## (6) 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

## (7) 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にす気持ちをもって関わるようになる。

## (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

## (9) 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

## (10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

## 子どもの学びと育ちをつなぐ

「スタートカリキュラム」では、幼児期からの子どもの学びと育ちを豊かにつなぐことが期待されています。そのためには、幼児期の遊びの中に様々な学びがあることを把握し、資質・能力を見取ることが大切です。

### のびのび遊ぼう



子どもの  
つぶやき例

資質・能力の見取り例（10の姿）

（1）健康な心と体  
充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を働かせている。

いろいろな葉っぱの  
色と形がきれいだな！

（7）自然との関わり・生命尊重  
自然の変化などを感じ取っている。

葉っぱがふかふか  
気持ちいいね！

### 葉っぱのお布団

（10）豊かな感性と表現  
友達同士で表現する過程を楽しんでいる。



（7）自然との関わり・生命尊重  
身近な事象への関心が高まっている。

葉っぱがカサカサ  
楽しいね！

（9）言葉による伝え合い  
言葉による伝え合いを楽しむようになる。



水を海に届けよう

(2) 自立心  
自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わっている。

もっと勢いよく流したいな！



スタートを高くしてみよう！

(6) 思考力の芽生え  
感じ取ったり、気付いたり、考えたり、予想したり、工夫したりして、多様な関わりを楽しむようになる。

(3) 協同性  
共通の目的に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりしている。

色水づくり

それ、いいね！  
どうやったの？

(6) 思考力の芽生え  
自分と異なる考えがあることに気付いている。



## 築山でドングリころがし



ころがし方、  
かわいいね！

(7) 自然との関わり・生命尊重  
好奇心や探究心をもって考え言葉な  
どで表現している。

ドングリころころだ！

どうして真っ直ぐ  
転がらないの？

(6) 思考力の芽生え  
新しい考えを生み出す喜びを  
味わっている。

(3) 協同性  
互いの思いや考えなどを  
共有している。

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心  
数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を  
重ねている。

## カマキリの動きを観察中

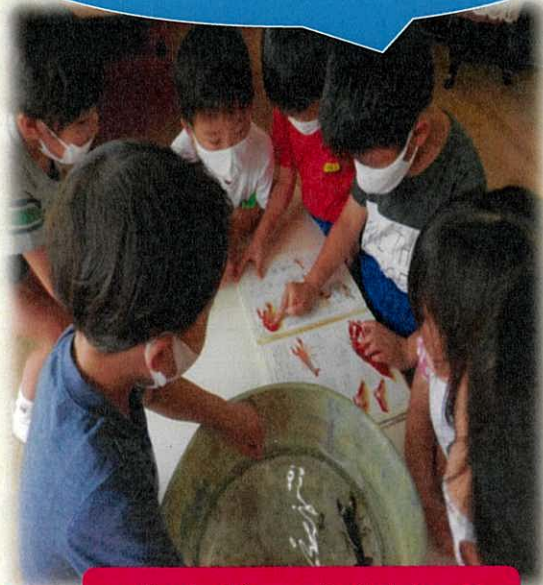


カマキリのうでが・・・

いっしょに見よう！

(4) 道徳性・規範意識の芽生え  
相手の立場に立って行動するようになる。

分からないことは、  
図鑑で調べてみるよ！



## ザリガニを飼おう

(3) 言葉による伝え合い  
相手の話を注意して聞いている。

## ハロウィンパーティーたのしいね

いっしょにしよう!

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心  
数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねている。

何個いる?  
何て書いてるの?

作るの楽しいな♪

こわくない?

(5) 社会生活との関わり  
人との関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じている。

しっかりつかまって!

(9) 言葉による伝え合い  
言葉による伝え合いを楽しむようになる。

(3) 協同性  
友達と関わる中で、工夫したり、協力したりしている。

(10) 豊かな感性と表現  
表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

(2) 自立心  
自信をもって行動している。



手作りティーカップに乗って

## 話し合いタイム

大切なことはしっかり  
目と耳で聞くよ！

(9) 言葉による伝え合い  
経験したことや考えたことなど  
を言葉で伝えている。



給食の準備も少しずつ  
自分たちでできること  
をしているよ！



(2) 自立心  
自分の力で行うために考えたり、  
工夫したりしている。

(5) 社会生活との関わり  
自分が役に立つ喜びを感じてい  
る。

## 当番活動

(2) 自立心  
しなければならないことを自覚  
している。

(4) 道徳性・規範意識の芽生え  
友達と折り合いをつけながら、  
きまりをつくったり、守ったりす  
るようになる。

## ほうきを使って



掃除のしかたも  
練習しているよ！



## 「奈良っ子はぐくみ基本方針」

令和4年3月に策定された「奈良っ子はぐくみ基本方針」には、「学ぶ力」「生きる力」を培う3つの土台（自己肯定感・自尊感情、他者への寛容なこころ、健やかな身体）を育むことが就学前教育の目標として示されています。3つの土台は、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が目指している内容を奈良県が整理したものであり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」と等しいものです。

### 「学ぶ力」「生きる力」を培う3つの土台づくりの方向性とはぐくみのポイント

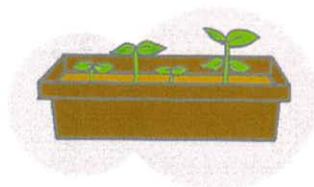
#### (1) 自己肯定感・自尊感情

##### 方向性・子どもの姿

- ①自分の存在が受け容れられているという安心感の中で、安定した生活を送る。
- ②身近な環境に興味や関心をもち、それらを遊びや生活に取り入れようとする意欲をもっている。
- ③失敗や悔しさを経験し、試したり工夫したりしながら、あきらめずやり遂げることで充実感・達成感を味わい、自信をもって行動する。

##### 「自己肯定感・自尊感情」をはぐくむためのポイント

- ・子どもの存在を愛情豊かに受け容れ、信頼感をはぐくむ。
- ・子どもの考えや行動を肯定的に受け止める。
- ・子どもを多面的に理解する。
- ・小さな成功体験を積み上げていくことができるよう、サポートする。
- ・一人ひとりの子どもが、集団の中で自己を発揮し、認められ、受け容れられている感覚をもてるようにする。
- ・やってみたい気持ち、やり遂げたい気持ちを大切にする。
- ・子どもが関心をもったことに思う存分取り組める環境を整える。
- ・教え込みではなく、子どもの活動を見守りながら、新しい発想が生まれるサポートをする。



## (2) 他者への寛容なところ

### 方向性・子どもの姿

- ①自分の気持ちを大切にしながら、周囲の人や友達と折り合いをつける。
- ②自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の思いを受け止めたりして考えて行動する。
- ③物や施設を共有することに慣れ、大切に扱う。
- ④地域において豊かな楽しい経験を重ね、地域に親しみをもっている。

### 「他者への寛容なところ」をはぐくむためのポイント

- ・友達との交流を深め、意見を出し合い、時には対立することもあるが、互いのよさや、考え方の違い、多様性に気付くことができるよう働きかける。
- ・異なる年齢の子どもなどに関わる機会を積極的に設け、学び合いを見守る。
- ・保護者や保育者自らが、他者への思いやりをもって行動するモデルになれるよう努力する。
- ・子どもに固定的な性別役割分担意識を植え付けることにならないよう、保育者自身が無意識に「〇〇の作業は男性が向いている」、または「女性が向いている」などと決めつけていないか気付く機会をもち、固定的な観念にとらわれずに行動する。
- ・物や遊具を友達と一緒に使っていく中で、皆が使いやすいような使い方に気付くことができるよう働きかける。
- ・公共の施設などを大切に利用する姿を通して、社会や周囲とのつながりを意識するモデルとなる。
- ・友達との関わりのなかで、楽しさや充実感を通して、守らなければならないことがあると気付くように援助する。
- ・地域の身近な人や文化と触れ合い、地域に親しみをもてるような環境をつくる。



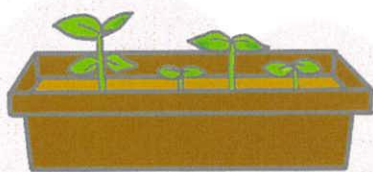
### (3) 健やかな身体

#### 方向性・子どもの姿

- ①のびのびと体を動かす心地よさを味わい、夢中になって遊ぶ。
- ②家族、友達や保育者と一緒に食べることを楽しむ。
- ③基本的な生活習慣を身に付け、生活に必要な活動を自分で行う。
- ④五感を通して自然と触れ合い、その不思議さや楽しさを感じる。
- ⑤感じたことや考えたことを、自分で表現することを楽しむ。

#### 「健やかな身体」をはぐくむためのポイント

- ・子どもが進んで体を動かそうとする意欲を育てる。
- ・それぞれの子どもが、発達段階や特性に応じた体の動かし方を楽しめるように配慮する。
- ・活動と休息のバランスに配慮する。
- ・健康で安全な生活につながる行動を認め、子どもが満たされた気持ちを持ちながら、その行動を習慣化していくことを促す。
- ・食べることの喜び、家族や友達等と一緒に食べることの楽しさを感じることができるよう工夫する。
- ・日々の生活の中で、多様性のある自然に触れ合い、親しみ、遊び込める環境を整える。
- ・子どもの独特の感性を肯定し、それぞれが感じたことを表現できるように助ける。



「奈良っ子はぐくみ基本方針」P10～P12  
<https://www.pref.nara.jp/item/264497.htm>



奈良県の就学前教育施設では、幼児期の教育として、本方針で示された「学ぶ力」「生きる力」を培う3つの土台づくりの方向性とはぐくみのポイントを大切にしながら、資質・能力を育むよう取組を進めています。

奈良県の小学校において就学前の施設類型に関わらず、幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続させるためには、このような幼児期の教育方針を把握することが大切です。

